

令和四年九月十七日 神魂誕生から二十年を経て

神 示

直使としての任 全てを果たし 「希望の光」^{みち}を世に示し
早二十年 日^{月日}が流れ 今^{今日}の思いを語らん
人間は 万物の霊長として

神の手の中 「正道」をゆく命^{運命}を与えられている
この真実を悟って 社会に奉仕して 「生きる」^{信者}人^{信者}であれ
一人一人の運命が花開くことで

世界は調和に向かって流れて行く

その先頭^歩をゆく人^{存在}が 心正しい信者

供丸姫の運命が神と重なり 神魂の力が世界を包む今^{今日}
信者は 「教え」^{人生}を心の支えに生きるなら

開運人生を歩み抜ける

直使の愛^{救世愛}が 心正しい信者の そしてその家族の 人生を
開運がかなうように 心の動きを導き守っている
今までも これからも

「道の真理」に気付き 悟りを深める人^{信者}は皆

「希望の光」^{みち}に心^{人生}守られ 救われてゆく

「心の道」に良き因を残した信者の魂は

神の手の中 実体を引き上げられ

高い「運命」^{もと}の下

極楽世界を味わうために また生まれくる